



2022

5

Vol. 60

社会福祉法人すこやか福祉会

発行日: 2022年5月1日 第60号

本部事務局 住所: 〒120-0023

東京都足立区千住曙町4-16

TEL: 03-5813-9251

住みなれたまちで

2022年度 新卒介護職員が入職しました



今年度もフレッシュな新卒職員が入職しました。介護職員が5名、事務系総合職が2名となります。

コロナ禍により2年連続で大々的な入社式が出来かねましたが、今年度は多職種の新入職員が一堂に会し、入社式および入職研修を行いました。満開の桜の木の下で新入職員の皆さんの希望に満ちた清々しい姿を見ることができました。皆様、ご指導ご鞭撻のほどお願いいたします。

葛飾やすらぎの郷 大規模修繕を行っています

特別養護老人ホーム葛飾やすらぎの郷が2001年に開設されてから20年以上が経過し、雨漏りやきれいだったウッドデッキもボロボロになり、お風呂のタイルもはがれたり、開設当初の面影が失われつつありました。

当法人の初代理事長の内村逸郎先生は、特別養護老人ホームは法人設立の目的である子供からお年寄り、障害者が安心して生活できるネットワークづくりに絶対必要な事業であると、たくさんの地域説明会に参加し、期待に応えられる施設づくりをすることを約束し開設されました。また、初代施設長の故竹森チヤ子さんは、誰もが安心できる場所は「家が一番である」ということを念頭に、限りなく家と同じように安心できる空間に近づけるにはどうしたらよいか、生活スタイルにも工夫を凝らしました。

地域の方や関係者の方のたくさんの思いが詰まったこの施設を、当時の思いのまま、次の世代に引き継いでいくには大規模改修が必要だと一念発起し、昨年10月より工事を開始し、今年の10月15日に終了予定です。現在は足場が全体にかかり進行具合が見えづらくなっていますが、中の方は食堂の床や壁の張替え、デイの浴室を全改修、栄養課の床の張替えなどが終わり、見違えるほどきれいになってきています。工事が終わったら是非地域の方や関係者の方たちにも見ていただきたいと思います。

追記: 施工はみさと健和病院を建設した三浦工務店さんが引き受けてくださり、当時病院建設にアルバイトで建設に入っていた現専務に色々協議会とのなれそめを聞く機会にもなりました。



社会福祉法人すこやか福祉会 2022年度事業活動計画

第2次5カ年計画<AreaMovement2025>を実践し、次代を切り開く経営体質を

私たちは今、新型コロナウイルスのパンデミックという過去にない試練と厳しさに直面しています。

市中感染や家庭内感染、施設内でのクラスター発生などにより、利用者・職員・家族に陽性者や濃厚接触者が続出し、感染予防対策、罹患者対応に加えて、事業そのものの運営維持に明け暮れています。しかし、そのような状況であっても、私たちは常にアクティブに、そして常に真摯に、利用者や職員、地域の方々の安全・安心を守るために徹底した対策を具体化し、いのちとケアが大切にされる社会の実現をめざすために活動し、国や自治体に即効性のある緊急対策を求めていく必要があります。

このコロナ禍のもとで、医療や介護・保育などで働く人々に対して、エッセンシャル・ワーカー（必要不可欠な労働者）という耳慣れない言葉が流行語になるくらいに日常的に使われるようになりましたが、一方でエッセンシャル・ワーカーの処遇面では正当な評価を受けていないのが実態です。私たち自身の切実な要求である大幅な処遇改善を実現させましょう。

2021年度は第2次5カ年計画(AreaMovement2025)の初年度でした。コロナ禍で様々な困難に直面し、それに加えて慢性的人材不足や補給給付見直しなどの制度改悪の影響で、大きな前進を作り出すことはできませんでした。

しかし、計画に掲げた課題の実践はこれからの奮闘にかかっています。私たちの現在の到達点に確信を持ち、第2次5カ年計画の実現に向けて取り組んでいきましょう。

①「全職員参加の経営」の実践で安定した経営体質づくり

- 事業計画に連動した収入・支出予算の作成
- 「withコロナ」での持続可能な事業所運営
- 第2次5カ年計画(AreaMovement2025)の具体化
- 不採算事業所の経営対策や業務効率化等の改善課題への迅速な対応



②法人運営の新たな段階をめざすための幹部育成と事業活動を担う人材の確保

- 幹部再配置で、第2次5カ年計画を担う世代への交代
- 私たちの事業の成否がかかる人材の確保と育成
- 「なんのために・誰のために」民医連綱領学習で経営理念や「めざす職員像」の構築

③社会福祉法人としての求められる役割実践と平和や社会保障拡充・環境問題の取り組み

- コロナ禍で明らかになった「いのちと人権」の危機からの転換をめざすあらゆる活動
- 地域公益活動の取り組み
 - ※コロナ禍でストップしていた諸活動の旺盛な展開
- 憲法を守るたたかいの一層の前進（9条・25条改悪の本質を学ぶ）
- SDGsを学び、環境・社会・経済面で負荷軽減に結びつけるための具体的取り組み



④様々な関連法規・対策課題を学び、良質かつ適切な福祉サービスの提供と実践課題

- 関連法令や社会的ルールの遵守などコンプライアンス教育の徹底と体制の構築、マニュアルの策定
- 法人・エリア・事業部・事業所での事業継続計画（BCP）の作成
- 日常的なリスクマネジメントと重大事故が起こった際の初期対応ルールの確立

⑤経営戦略・人材戦略の一環としての広報PR活動、ブランド戦略の具体化

- 法人の認知を広げるための達成目標を共有し、法人事業計画に沿ったブランディング
- 様々な宣伝媒体の活用と見直し

新所長より ご挨拶

グループホームすこやかの家 業平
所長 紙屋 友信



グループホームすこやかの家業平のホーム長となりました紙屋です。

突然ですが、私の好きな事ランキング、3位:ミュージカル、2位:ガンダム、そして堂々の1位が「介護の仕事」です！と、いつのまにかどっぷり介護現場の魅力にハマっている私ですが、実はそもそも始まりは介護事務でした。

ちょっとしたきっかけからデイサービスで働き、気づけば12年も経ち、現在はグループホームで勤めて3年。天職と悟り、日々やりがいを感じています。



今思えば、前職のホテル業ではすでに人と関わる楽しさを感じていたのかもしれませんが、アマチュアミュージカル俳優だったこともあり、人を観察したり、相手に想いを寄せるなどの心理学的な思考が好きで、常々いろいろな事を考えています。

私は、高齢者施設において、そこで暮らす方々の生き方は、環境因子(方針、職員、地域など)に大きく左右されると思っています。安全・安心・健康で長く…も大切かもしれませんが、それらを一旦横に置き「太く、充実した」人生にこそ我々の力は発揮されるべきではないでしょうか。「辛くなくす為」より「楽しい・やりたい事(夢)」にこそ、人のモチベーションがあるからです！

私は、そこで働くみんな(入居者様も職員も)が、心から楽しく「幸せだ～」と過ごし、最期の時には心から涙する。そんな愛ある人間模様となる様、関わり続けたいと思います。

運動、社会貢献、地域・家族交流、季節のイベント、夢…今までの経験や知識、新たなアイデアを基に、全ての人の豊かな人生を目指し、日々奮闘してまいりたいと思います。



小規模多機能サービスよりみちの家
所長 横尾 宏樹



こんにちは。小規模多機能サービスよりみちの家、所長の横尾です。とは言ってもまだこの肩書きには慣れていません。今年の1月末から所長という立場で働いています。所長って何？どんなことをすればいいの？自分に務まるだろうかと不安の種はたくさんあります。しかし、やるからには責任をもって向き合いたいと思っています。

さて、私は9年前に新卒で介護の仕事に就きました。専門学校では保育の勉強もしており資格も持っています。なんとピアノも弾けるのです(ものすごく練習してやっとのレベル)。卒業後、配属先は特別養護老人ホーム葛飾やすらぎの郷です。同期や先輩にも恵まれ介護の基礎技術や考え方など多くのことを学びました。副主任という立場も経験させていただき、次のステップとして新たな現場でのスタートとなったのが今の職場。よりみちの家に勤めてもうすぐ2年になります。



大きな施設と小さな事業所。同じ介護でもまるで違う世界でした。地域密着サービスとして、近隣事業所との関わりも以前に比べ格段に増えました。こういった状況で本来の繋がりを経験できないのは残念ですが、新たな取り組みも模索しています。まだまだ以前のような生活には戻れそうにないですが、そんな中でも今だからできること、自分だからできること。生活や仕事の中に1つでも光を見つけて、新年度、気持ちも新たに過ごしていきたいです。

とある研修で講師の方が言っていました。「介護者の関わりがどんな薬よりも効く」と。言葉、空気、佇まい、私たちの関わり一つで大きな変化を生むのです。この言葉を胸に今年度も丁寧な対応を心がけていきます。



新年度がスタートし、八潮市立おおぜ学童保育所には1年生35名、2年生26名、3年生26名、計87名の子ども達が毎日元気に登所しています。

1年生は学童の生活にも慣れ、自分の好きな遊びをみつけて同じ1年生の友達や2年生・3年生のお兄さん・お姉さんとも一緒に楽しく遊んでいます。部屋遊びでは、レゴやラキューで家やお花を、カプラでは空港や線路とホームを作ってみたりと創造力豊かに遊んでいます。また、ダブルやピグテン、ウノ等のカードゲームでも盛り上がっています。プラバンや写し絵も人気で、1年生も丁寧に描き上げ出来上がった物を嬉しそうに持ち帰っています。

外遊びでは、なんとと言っても大瀬小学校の広い校庭は魅力的！ バスケやサッカー、おにごっこ、一輪車、砂場遊びと思いきり体を動かして遊んでいます。なかでも一輪車は昨年度から乗れる子が増えて、今では3年生の男の子も5～6人乗れるようになり、校庭を自由自在に走り回っています。そんな3年生の姿を見ながら1年生も練習を始めているので、お天気の良い日は外遊びを楽しみにしている子ども達です。



「学校はちょっとイヤだけど、学童は大好き！」という子どもの声を聴き、子ども達が安心して帰ってこれる、自分がやりたい遊びがたっぷりできる、そんな学童でありたいと思いました。

おおぜ学童保育所 日吉 理恵



寄付のお礼

常日頃から当法人の社会福祉事業にご協力・ご支援いただき、感謝申し上げます。この間、貴重なご寄付を多くの方々からいただきました。心からお礼申し上げます。

すこやか福祉会 2021年度寄付金収入総額

4,214,164 円

施設の充実に役立つよう、大切に活用させていただきます。高齢になっても、障がいがあっても、安心して住みなれた地域に住み続けることが可能になるよう、また「いつでもどこでも誰でも安心してサービスが受けられること」ができる介護保障の実現のために、役職員一同、これからも奮闘していく所存です。

どうぞ今後とも、今までと変わらないご支援・ご協力を重ねてお願い申し上げます。お礼にかえさせていただきます。

Photo Gallery



近所の土手や神社の周辺を散歩。やっぱり青空の中の外出は気持ちいいですね。